百人一首の暗誦 桃 十 一

①すらすら読む

物や思ふとものおもう 色に出でにけりいる。

③ 右

のお手本をかくして読む

2

いねいになぞる

人の問ふまで

わが恋は

合格チェック

④何も見ずに言う

(暗誦)

物

や

思

いらい

0

問

, Š,

ŧ

色

1

出

け

1)

わ

かべ

恋

は

平

兼

盛

150

れ









平兼盛

らすら読む

風をいたみかぜ 岩打つ波の おのれのみ

くだけて物を 思ふころかな

いねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

_				
	<	岩	風	
	だ	打	を	
	け	つ	()	
	て	波	た	
	物	の	み	
	を			
		お		
	思	の		
	,3,	れ		
	C	の		
	3	2		
	カ`			源
	な			重
				>

④何も見ずに言う (暗誦)



合格チェック





源 重之

すらすら読む

立ち別れ いなばの山のやま 峰に生ふる

まつとし聞かば

今帰り来む

中納言行平 ちゅうなごんゆきひら

②ていねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

ま	()	立	
つ	な	5	
と	ば	別	
L	の	れ	
聞	Ш		
か、	の		
ば			
	峰		
今	15		
帰	生		中
l)	vŠ,		納
来	る		盲
む			行
			亚

④何も見ずに言う (暗誦)



合格チェック









百人一首の暗誦 桃 十四

①すらすら読む

吹くからに 秋の草木の しをるれば

嵐と言ふらむ

おべ山風を

む 秋 吹 0 草 か、 5 木 風 15 0

③ 右

のお手本をかくして読む

②ていねいになぞる

④何も見ずに言う (暗誦)

Ш

を

嵐

言

,,,

6

む

を

る

机

ば

文

屋

康

秀



合格チェック







文屋康秀

らすら読む

山里は 冬ぞ寂しさ まさりける

人目も草も 枯れぬと思へばいとめ くさ か おもえ

みなもとのむねゆき あ そん

源 宗于朝臣

人	冬	Ш		
	ぞ	里		
 も	寂	 は		
草	L			
も	さ			
枯	ま			
れ	さ			
ぬ	l)			
と	け		源	
思	3		宗	
^			于	
ば			朝	
			工	

③右のお手本をかくして読む

いねいになぞる

④何も見ずに言う(暗誦)



合格チェック







